

# 俳優 迫田 孝也さん

2月18日、石戸蒲ザクラの国指定100年記念講演会に登壇するため、北本を訪れた迫田さん。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で源範頼役を演じ終えた今、範頼、そして石戸蒲ザクラに寄せる想いを聞きました。

文化財保護課 (☎594-5566)



「まずは北本とのご縁のはじまりについてお聞きしたいです。2020年の12月でした。その時すでに源範頼役として発表されていたのですが、まだ『源範頼』という人物について知識が全然なくて、ゆかりのある地を回りながら勉強していました。NHKの方に「北本にこういうものが残っているから見に行ってみたらどうか」というお話をいただいて、石戸蒲ザクラを訪れたのが最初のきっかけだったと思います。

「**範頼役が決まった時のエピソードを教えてください**」

NHKの会議室に呼ばれて、「迫田さんに源範頼をお願いしたいです」と番組プロデューサーから伝えられました。頼朝の弟で、義経の兄と聞いてありがたく思いながらも気が引き締まりました。



「**後変わったことはありませんか**」

「一步引いた性格の役をいただくことが増えました(笑)。今までは元気いっぱいな役が多かったんですが、範頼さんに教えてもらって、情熱を内に燃やしながら静かに演じる、という引き出しができました。」

「**市民の皆さんにメッセージをお願いします**」

「ご縁があつて今回、源範頼役を演じた僕ですが、あの時代を見てきたであろうこの蒲ザクラが今なお残っているということは素晴らしいことですし、今日まで守ってきてくださった北本市の皆さんに本当に感謝しています。蒲ザクラを前にすると、目の前に立っているだけで想像力がかきたたられて、時代に触れることができたと感じるようになります。そんな贅沢な時間を僕たちの子孫にも感じてもらえるように、皆さんの力でこれからも蒲ザクラを守り、後世に伝えていきたいと思います。僕、そして範頼からもお願いいたします。今度、満開の蒲ザクラを見たいです。」



▲蒲ザクラの根元にある範頼の石塔に手を合わせる迫田さん

「お話をいただけてすぐに、作品の脚本を書かれていた三谷(幸喜)さんに、「ありがとうございます」とご連絡したのを覚えています。三谷さんは人を大事に書く方ですから、範頼さんという人も絶対に大事に書かれるだろうと確信していました。」

「**当初、三谷さんから演技方法などの要望はありましたか**」

「直接的なオーダーはありませんでした。範頼には『ダメ武将』との評価(※)もありましたが、三谷さんは「(範頼は)そういう人物ではない」と最初からおっしゃっていたんです。だからその

源範頼と石戸蒲ザクラ…源範頼は「蒲御厨」(現・浜松市東区)で生まれたため、「蒲冠者」と呼ばれ、義経とともに平家との戦いで活躍しました。兄の頼朝に謀反を疑われ、最後は伊豆に流され亡くなったとされる範頼ですが、「実は生きて石戸の地に落ちのび、その時に突いてきた杖が根付いて蒲ザクラになった」という伝説があります。

言葉を信じて、どんな台本が来ても演じられるように、今残っている史料から範頼という人物の要素を拾い集めて撮影に臨みました。(※範頼は平家物語等の軍記物では頼朝や義経の影に隠れ、有能な武将としては描かれていないが、近年、これまでの史料を基に範頼の功績を再評価する動きが高まっている)

「**範頼を演じるにあたって苦労したことはありますか**」

「僕は前に出ていくタイプなので、自分からどんどんアピールしてしまふんです。でも、範頼さんは縁の下の力持ちというか、みんなを後ろから見守るような人なの



▲東光寺境内の板碑収蔵庫で範頼の肖像画を見つめる

で、僕にない感覚をどうやって手に入れるか、というのが最初に苦労したところでした。

「**迫田さんご自身が気に入っているシーンはありますか**」

「範頼が頼朝に謀反を疑われるシーンですね。自分でもどう弁解していいのかわからなかったのですが、頼朝役の(大泉)洋さんも同じだったようで、2人で話し合ったんです。洋さんから「僕は頼朝として、(謀反など考えていないと)説得されたいんじゃないのかな。だから、(範頼から)なんとか言葉を引き出そうとしてるんだよ」という話を受けて、じゃあそこで範頼が説得せずに引いてしまうことが、2人のすれ違いに繋がってくるんじゃないか、というようなことを話して挑みました。おかげでその後の本番直前のテストはともしくりきたんです。役者同士は分かり合っているのに、演じている兄弟はずっとすれ違っている、というのが不思議な感覚だったのでとても記憶に残っています。」

「**範頼を演じたことによって、そ**

## 迫田孝也さん

1977年生まれ。鹿児島県出身。広島大学教育学部卒業後、役者を志し上京。2006年映画『ザ・マジックアワー』のオーディションに合格。以降、大河ドラマ『真田丸』『鎌倉殿の13人』(NHK)、舞台『酒と涙とジギルとハイド』など数々の三谷幸喜作品に出演。近年は、ドラマ『天国と地獄〜サイコな2人〜』(TBS)、『真犯人フラグ』(日本テレビ)、『マイファミリー』(TBS)、『最初はパー』(テレビ朝日)などで活躍。



市ホームページに迫田さんが北本をめぐる様子をフォトレポートとして掲載予定です。お楽しみに!